

2026年農民連青年部総会 in 千葉

学習テーマ

持続可能な農業で 広げる地域の輪

「オーガニックビレッジ」宣言の街で学ぶ



2026年農民連青年部総会 in 千葉

1月31日土～2月1日日
午後1時から 正午まで



千葉県印旛農民センターでは、米作りへの相談や有機米の学校給食への出荷など、米作りを通じて新規就農の仲間を増やし、会員が消費者を巻き込んだ多彩な取り組みを開しています。

総会の学習企画では印旛農民センターの実践を学びます。



見つけた！

地域食材の活用で“まちおこし”

佐倉市では全ての小中学校で給食調理施設を設けて、地元の農産物や、有機／特別栽培米を活用しています。

市内では、農民連会員のサポートで農業体験も取り組まれ、地域活性化につながっています。

参加費：全日程 3000円 / 1人

1日目のみ 3000円 2日目のみ 500円

※学生は減免あり、要相談。



ホテル・交通手段は
各自で手配してください。

1日目夕に懇親会（佐倉市内）を予定しています。

参加登録



Google
フォーム

会場

1
DAY

現場
学習

佐倉市の圃場

京成佐倉駅（北口）13:00 集合

2
DAY

総会

農民連本部

東武東上線
大山駅 5分

東京都板橋区熊野町 47-11

終了後、女性部総会・学習会（都内）に合流できます。



〒173-0025

東京都板橋区熊野町 47-11 TEL :03-5966-2224 Mail:nouminrenseinenbu@gmail.com

講師紹介

Inba
farmers
印旛農民センター



菊間秋彦 さん

佐倉市の有機米給食の経過とそれを生かした仲間づくり、自身の有機米・特栽米作りなどの報告してもらいます。



小出一彦 さん

循環型農業を実践し、会費制で農業体験を受け入れる「こめまめクラブ」や地域の活動などで消費者との交流にも取り組んでいます。



田端大輝 さん

希 さん

お米農家として新規就農者して3年。「地球に恩返し」の気持ちで、無農薬栽培を頑張っています。フードトラックでおにぎりの販売も始めました。

オーガニックビレッジ宣言とは？

「オーガニックビレッジ」とは、有機農業の拡大に向けて、生産から学校給食利用などの消費までを一貫して活用し、農業者、事業者、地域内外の住民が、地域ぐるみで進める市町村です。

今回訪問する佐倉市は、2023年に「有機農業、慣行農業者が共成し、持続可能な農業の実現、環境にやさしい農業を農業を進めるため」、オーガニックビレッジを「宣言」しました。



1日目集合場所

京成佐倉駅（北口）

千葉県佐倉市栄町 1001-5



2日目集合場所

農民連本部

東武東上線
大山駅から 5 分

東京都板橋区熊野町 47-11

農民運動全国連合会